

「風になつて」

元読売新聞福山支局長が見た備後

58



田中 昭二

福山の魅力発信

福山は広い！そして歴史的な文化遺産が多い！

先日、久しぶりに鞆町を訪れ、改めてそう感じました。目的は3月末に開通した「鞆末来トンネル」(全長2114メートル)を車で通ること。このトンネルは歴史的な町並みが残る鞆町内の渋滞緩和を主目的に、賛否が分かれていた「鞆港の埋め立て・架橋計画」に代わるものとして県が建設しました。

通ってみて感じたのは、意外に長いこと、そして道幅が狭いことです。途中で自転車道を2台追い越しましたが、暗くて見えやすく、一瞬ヒヤッとしました。しかし、抜けるのはあつという間で、すぐに明るい沼隈の海が見えて来ました。ついでに約450年前に再建されたという「阿伏鬼観音」(あぶとかんのん)に立

ち寄り、岬の断崖上に建つ観音堂に上つて来ました。鞆沖合の海はいつ見ても、どこから見ても素晴らしいな、と思います。

トンネルを通つて感じたのは、鞆町の渋滞緩和もさることながら、これは福山市街地と沼隈・松永地区沿岸部を結ぶ重要幹線になるだろうということです。特に災害時にはその威力を発揮するでしょうし、沼隈半島の再開発にもつながる気がしました。道の駅「アリストめまぐま」まで足を延ばしましたが、新鮮な海産物や農作物、個性的な加工食品などが数多く並び、とれたての魚がまだ動いているのに驚かされました。

帰りは山道のグリーンライオンから鞆鉄鋼団地に下り、田尻町の旧道を通つて草戸町へ。明王院で開かれた「花の香20周年記念コンサート」に参加し、670年以上前に建てられたという国宝・五重塔そばの本堂で、軽快なジャズの演奏と歌を楽しみました。

福山市は東西南北に広い面積を有し、地域ごとに多様な文化遺産が残っています。まさに「歴史の宝庫」で、この魅力を何とかして全国に、世界に向けて発信したいものです。

広島県

セミナー「インドでのオープンイノベーションの可能性」

6/10「iti SETOUCHI」で開催

広島県東部・岡山県

広島県は、インド現地企業との連携・海外進出を目指すしたい企業を募集するセミナー「インドII写真II」でのオープンイノベーションの可能性」を、6月10日(火)午後1時～2時30分に「iti SETOUCHI」(福山市西町)で開く。参加無料。運営は起業・転職支援を手掛けるフォースタートアップス(株)(本社・東京)。内容は次の通り。

JETROニューデリー／チェンナイ／ベンガルール事務局の紹介▽「インドでのオープンイノベーション

の可能性」セミナー▽募集・プログラム詳細の説明▽質疑応答・個別面談の案内▽アンケート。

また、17日(火)午後5時～6時30分には同セミナーのオンライン説明会が予定されている。

セミナーの詳細・申し込



みは次のHP (<https://hiroshima-greenocean.jp/startups/startups-r7/index.html>)から。

福山地区の第4高炉27年度をめどに休止

JFEスチール

JFEホールディングス(HD、東京)は、鉄鋼需要の減少を受け、5月8日にJFEスチール(株)の国内粗鋼生産能力を現有の高炉7基・2600万t体制から、高炉5基と電気炉1基・2100万トン体制に縮小すると発表した。

これに伴い、同社西日本製鉄所・福山地区(福山市鋼管町)の第4高炉(炉容積5千m³)を、2027年度をめどに完全休止し、合わせてコークス炉や連続铸造設備など附帯の上工程設備も休止する。

また、倉敷地区(倉敷市水島川崎通)では5月中旬に第3高炉(同5055m³)を一時休止し、第2高炉を28年度に二酸化炭素(CO₂)排出量が少ない大型電気炉に置き換えた後、第3高炉は再稼働する方針。